

# トホクのカブ栽培方法

発芽適温：15～25℃ 生育適温：15～25℃  
 土壌酸度：pH6.0～6.5 連作障害；2～3年あける

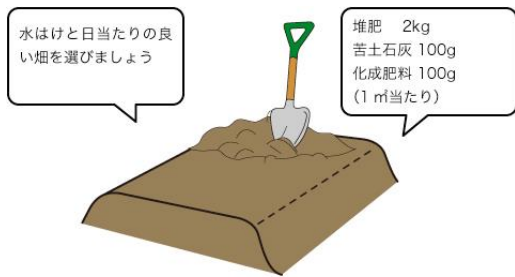
## 1. 作物特性

カブ栽培のポイントは良質な土づくりにあります。生育初期に乾燥すると根が割れ、過湿条件では肥大が遅れ不揃いになります。保水性・排水性が良く、有機質に富んだ畑作りが基本となります。また高温では尖りやすくなり、食味や品質が劣ってしまいます。暑い時期を避けて栽培しましょう。

小カブは生育日数も短いので家庭菜園で手軽に作れる品目ですが、連作すると根こぶ病が発生します。また春まきでは低温でトウ立ちする場合がありますので、病気に強い品種や春まきできる品種などを選んで栽培しましょう。

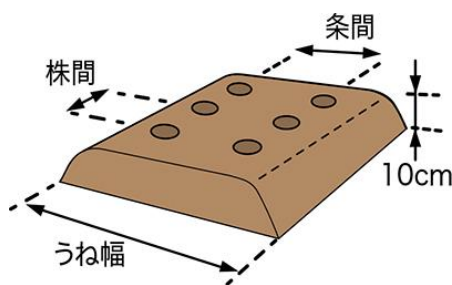
## 2. 畑の準備

タネまきの1カ月前には堆肥を施し良く耕しておき、その後苦土石灰、化成肥料を施してうねを立てます。うねは水が溜まらないよう平らに立て、水はけの悪い畑では少し高くします。



## 3. タネまき

カブの種類によって株間などは調整します。



	うね幅	条間	株間	条数
小かぶ	80～100cm	15cm	12cm	4～5条
中かぶ	70cm	25～30cm	15～20cm	2条
紅かぶ	70cm	30cm	20cm	2条
大かぶ	90～100cm	30～50cm	30～40cm	2条

一定の間隔になるようタネのまき穴をあける道具を自作しても良いでしょう。



タネは約1cmの深さに、1カ所3～4粒まき、まき終わったら土をかけ軽く鎮圧し、タネが流れることの無いように水をやります。



## 4. 栽培管理



タネまき直後から防虫ネットなどをかけると、害虫予防だけでなく強い雨の被害も軽減でき、初期生育が安定します。

本葉4枚の頃までに2～3回に分けて間引きを行い、最終的に1カ所1本にします。最後の間引きの時に追肥します。



小カブ・中カブの場合は追肥の必要はありませんが、大カブの場合は化成肥料30gを追肥します。追肥した後は肥料が土と混ざるように軽く表面を耕します。

## 5. 収穫

タネまきから収穫までの日数と適期の大きさは、小カブでは45日で根径5cm、中カブでは55～60日で根径8～9cm、大カブでは70～100日で根径13～15cmです。

収穫が遅れるとスが入り肉質が劣化し、また裂根が起こりやすいので適期収穫を心がけます。



●栽培例 ●●まく時期 ■収かく時期 〰️トンネル

